

## 飛騨センターの有効活用策検討に関する経緯

- 来年度以降の指定管理料の上限額協議の中で、文化施設の枠にこだわらず、有効活用策を検討することを決定し、以下のとおり関係者に説明、意見聴取等を実施。

<令和7年>

- 8/20 県議、地元市村、地元関係者に意見聴取  
 ~9/11
- 8/21 県庁内、3市1村に有効活用策照会  
 25 飛騨センター活用推進協議会幹事会を開催
- 9/1 知事と3市1村長が面談  
 25 県議、高山市、木工連と面談
- 10/7 高山市長と面談  
 27 高山市長と面談
- 11/4 知事と3市1村長及び地元県議が面談  
 20 運営に関する会議（県、3市1村課長）を開催  
 25 利用者説明会を開催  
 27 サウンディング調査の実施を公表
- 12/3 文化創造課内に利用者向け相談窓口を設置  
 9 利用者団体の代表等から、知事と議長宛の「抗議及び要望書」を受理
- 11~14 高山市長、県議と面談  
 15 県議会常任委員会でサウンディング調査の実施等について説明  
 19 利用者団体の代表等へ「抗議及び要望書」の回答を送付  
 22 高山市議会議長から、知事宛の「意見書」を受理  
 26 サウンディング調査の申込期限等延長、応募条件の緩和を公表  
 利用者有志一同から、知事宛の「公開質問書」を受理

<令和8年>

- 1/9 高山市長、県議と面談  
 14 利用者有志一同へ「公開質問書」の回答を送付  
 「抗議及び要望書と回答」、「公開質問書と回答」を県HPで公開

## 飛騨・世界生活文化センターに関する「抗議および要望書」に対する回答について

令和7年12月19日  
岐阜県

令和7年12月9日に提出のありました「抗議および要望事項」について、以下のとおり回答いたします。

### 1 「要望事項」について

#### 1) 今回の利用制限、利用停止および運営方針変更の撤回

##### 【回答】

飛騨センターは、平成13年の開館以来、飛騨地域の皆様に御利用いただき、ピーク時の平成23年度には、年間約56万人の方に御利用いただきました。しかし、利用者数は右肩下がりであり、これまでも行財政改革議論の中で度々そのあり方が議論されてきました。近年の利用者はピーク時の半分程度となっており、飛騨センターが持つ各種機能（国際会議も開催可能なコンベンション施設として整備等）を十分に活かし切れていないのが現状です。

また、今後の飛騨センターの運営を展望する中で、毎年約3億円にもなる運営管理費や、今後予定される相当程度の大規模修繕費などの財政負担等を勘案し、今年度末で指定管理期間が満了するこの機会をとらえ、当施設を引き続き活用する途を探るため、これまでの文化施設の枠にとらわれず、有効な活用策を検討すべく、現在、広く民間から施設活用のアイデアを募る「サウンディング型市場調査」を開始したところです。

県としましては、調査結果を踏まえ、令和9年度から新たな運営へ移行できるよう期待しており、現行の運営形態からの引継ぎや、必要な施設の改修など事業開始までに半年間の準備期間が必要と想定されることに加え、既に貸館予約を受付済みの行事等の実施に支障を生じないことなどを考慮し、現行の運営形態については、令和8年9月末までの稼働とし、更に代替の候補となる施設の紹介等を行いつつ、その旨御説明してきたところです。

そうした中で、今回の「抗議及び要望書」の提出を受けたことは誠に残念に感じております。しかしながら、利用者説明会での御意見や地元高山市からの要請、さらには岐阜県議会企画経済委員会での議論等を踏まえ、現在、サウンディングの募集期間中ではありますが、来年度の飛騨センターの運営期間について、当面年度末（令和9年3月末）まで延長できるよう検討してまいります。

また、その後の運営については、サウンディングの状況や県の財政的見地、地元自治体や関係者の御意向、代替施設の確保状況などを踏まえつつ、そのあり方を検討してまいりたいと考えております。

## 2) サウンディング型市場調査の即時中止

### 【回答】

サウンディング型市場調査の実施については、議会の議決や承認は要件とはされておりませんが、当調査では、現行の県有文化施設の枠にとらわれず広く民間から意見を求めており、将来的に条例改正などの手続きが必要となる重要案件であることから、本年12月15日に開催された県議会企画経済委員会において、本調査の実施について正式に報告をさせていただきました。

なお、その際、飛驒センターの現行の運営の考え方につきましても併せて御説明をいたしました。

委員からは、「不満のある方もいると思われるので、今後も県民に理解してもらえるよう対応してほしい」、「飛驒地域の賑わい創出といったサウンディングの目的に沿った提案を期待し、より良い結果につながるよう進めてほしい」といった御意見をいただいたところです。

こうした御意見等を踏まえ、現在行っているサウンディング型市場調査について、より良い提案をいただけるよう募集期間の延長や応募条件の緩和など必要な見直しを検討してまいります。

## 3) 説明会の再開催及び実質的説明責任の履行

### 【回答】

来年1月下旬頃に第2回の説明会を開催させていただくことを予定しておりますが、今後の進め方については、別途、しかるべき方との協議の場を設けさせていただきたいと考えております。

## 2 「抗議の趣旨」に記載の事項について

- 1) 利用者・関係者への意見聴取の欠如
- 2) 手続き上の不備
- 3) 議会軽視の姿勢について
- 4) 地域文化・教育・地域振興・災害対応への影響
- 5) 岐阜県職員倫理憲章 文化創造課実行計画について

### 【回答】

飛驒センターの運営見直しに係る「抗議」事項につきましては、それぞれ関連があることから、上記1「要望事項」への回答に県の考え方を一括して記載させていただいておりますので、御参照いただきたく存じます。

飛騨・世界生活文化センターに関する「公開質問書」  
に対する回答について

令和8年1月14日  
岐阜県

1 利用者数の記述について

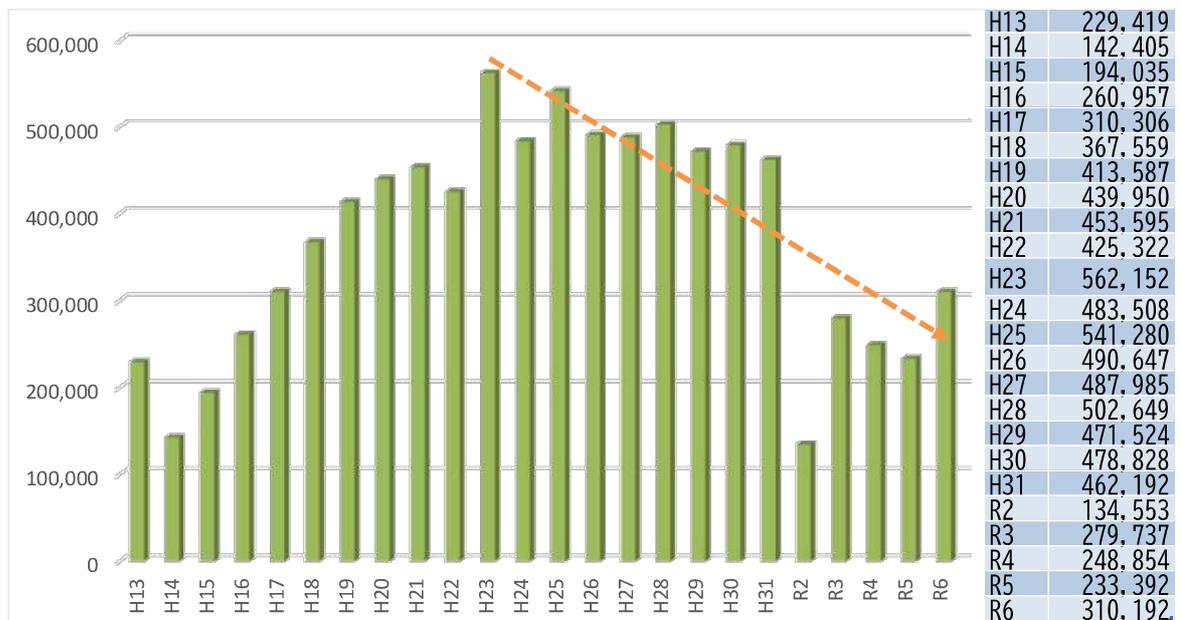
3 「ピークの半分程度」という表現について

飛騨センターの延べ利用者数は、【図表1】のとおりです。

平成23年度の約56万人をピークに、令和5年度が約23万人（対平成23年度比約42%）、令和6年度が約31万人（同約55%）へと減少しており、近年の利用者はピーク時の半分程度となっています。

年度ごとに様々な要因があり数値の増減はありますが、平成23年度をピークに右肩下がりの傾向にあると認識しております。

【図表1】 飛騨センターの延べ利用者数の推移



2 コロナ禍後の利用形態の変化と県の方針との整合について

令和6年度の施設利用者数は【図表2】のとおり、個別施設の利用者総数（A）、館内2箇所に設置された人感センサーによるカウンター計測値（B）、ふれあい広場（屋外イベント場）利用者数（C）の合算値31万人となっております。

このうち、個別施設の利用者数（A）約8万1千人の利用団体別の内訳は、概ね月1回以上利用している団体が11団体で約3万1千人、うち概ね週1回以上が5団体で約2万7千人となっています。

県では、こうした施設利用の状況や、近隣の類似施設の利用状況、毎年の運営管理費や今後予定される大規模修繕費などの県の財政負担等

を勘案し、今年度末で指定管理期間が満了する機会をとらえ、定期的に文化やスポーツ活動の場として活用しておられる団体等に対し、代替候補施設の紹介を行ったうえで、これまでの文化施設の枠にとらわれず、飛驒地域の賑わい創出や課題解決に資する有効な活用策を検討することとしたものです。

なお、御指摘のありましたリモート鑑賞に資する映像配信装置については、コロナ禍を受け飛驒センターにおいても導入しましたが、直近2年間で16件の活用にとどまっております。これは、センターで開催される各種催しが、地元住民を対象としたものが多いことも一因の可能性があると考えられます。

【図表2】飛驒センター延べ利用者数の内訳（令和6年度）

棟	施設名	利用者数
飛驒コンベンションホール	飛驒コンベンションホール	29,322人
	応接会議室	564人
飛驒芸術堂	飛驒芸術堂	10,284人
食遊館	大会議室	8,029人
	会議室1	3,461人
	会議室2	2,232人
	特別会議室	253人
ミュージアム飛驒	企画展示室1	3,153人
	企画展示室2	6,238人
	企画展示室3	7,343人
	ミュージアム飛驒	8,495人
ウェルカムプラザ	ミニシアター	1,693人
小計		81,067人 (A)
カウンター（ウェルカムプラザ・スナックスペース）		179,590人 (B)
ふれあい広場（屋外イベント場）		49,535人 (C)
合計		310,192人

#### 4 国際会議施設としての仕様表現について

国際会議については、指定管理者がコンベンション誘致業務の一環として、また、県が地元市村や観光関係団体等と連携して誘致すべきものであり、利用者が誘致することは想定しておりません。一方で、年間

の運営管理費や現在の飛騨センターの利用状況等を鑑みると、更に多くの人的リソースや多額の予算を投じてまで国際的な大規模コンベンションの誘致を図ることは、現状では困難な状況にあります。

## 5 運営管理費「毎年約3億円」について

これまでと同様の運用をした場合に想定される次期指定管理料として、直近の運営経費実績額をベースに、今後の労務費単価の伸びを考慮して年度当初に算出したものです。

### <運営経費等の内訳>

(単位：百万円)

支 出 合 計	3 0 8
人件費	9 7
施設管理費	1 9 4
施設運営費（事務費）	1 0
企画事業費	6
収 入 合 計	2 1
利用料金収入	1 8
その他収入	3
支出－収入（次期指定管理料）	2 8 7

## 6 運営期間延長の「検討」の位置づけについて

令和7年12月19日付け回答書のとおり、当面令和8年度末まで延長できるよう、予算編成及び議会への関係議案の提出等の準備を進めております。

## 7 今後の運営方針決定に向けた「協議体」設置について

## 8 「しかるべき方との協議の場」の具体的内容について

今後（令和9年度以降）の施設運営方針については、利用者を含めた地元の代表である高山市はじめ関係市村と協議してまいりたいと考えております。なお、説明会の開催については、地元市村と協議のうえ適時適切に対応してまいります。

また、サウンディング調査の応募内容に関する検討については、国の「PPP事業における官民対話・事業者選定プロセスに関する運用ガイド」（平成28年10月）に沿って適正に進めてまいります。

## 9 サウンディング調査の開始と議会説明に関する手続の順序について

サウンディング調査の実施については、県議会の議決や承認は要件

とはされておりません。

しかしながら、令和7年8月から順次行ってきた関係者への説明において、県議会関係者に説明を行ってきたところです。

今後も予算・条例など重要事項の議決機関である県議会に対しては、適時適切に説明を行ってまいります。

## 10 「抗議の趣旨」への回答が記載されていない件について

県としましては、今後の施設運営やサウンディング調査等に関する御要望については、真摯に受け止め、県の考え方を整理した上で御質問に回答をさせていただいたところです。

なお、抗議として表明されるに至った状況等については、今後の検討の参考とさせていただきます。

## 11 「抗議及び要望書の提出を受けたことは誠に残念に感じております」との記述について

今後の飛騨センターの運営を展望する中で、施設利用の現状や、近隣の類似施設の状況、毎年約3億円にもものぼる運営管理費や今後予定される相当程度の大規模修繕費などの財政負担等を勘案し、今年度末で指定管理期間が満了するこの機会をとらえ、当施設を引き続き活用する途を探るため、これまでの文化施設の枠にとらわれず、飛騨地域の賑わい創出や課題解決に資する有効な活用策を検討することとしました。

具体的には、令和7年8月以降、地元市村や関係者にこの旨を説明し、御意見を伺いつつ先ずは地元主導による活用の途を探ってきたところです。しかしながら、有効な活用策について見出すことができなかったことから、広く民間から施設活用のアイデアを募る「サウンディング型市場調査」を開始したところです。なお、この調査へは地元から提案することも可能となっております。

県としましては、当初目指してきた「令和9年度からの新たな運営への移行」に必要な準備期間や、既に貸館予約を受付済みの行事等の実施に支障を生じないことなどを考慮し、現行の運営形態については、令和8年9月末までの稼働とし、更に代替の候補となる施設の紹介等を行いつつ、その旨御説明してきたところです。

このように必要な説明等の手順を踏み、代替施設の案内等の配慮も行ってきたことが十分に受け止められず、先般の「抗議及び要望書」が提出される結果となったことについて県として残念に感じている趣旨を述べたものです。

## 飛騨・世界生活文化センター（高山市千島町）の利活用に関する サウンディング型市場調査 実施要領

岐阜県観光文化スポーツ部文化創造課  
令和7年11月27日 公表  
令和7年12月26日 改訂

### 1 調査の目的

飛騨・世界生活文化センターは、県民文化の振興や地域社会の活性化に寄与することを目的とし、国際会議にも対応可能な施設として平成13年に開館以来、県内外の多くの方に利用されてきました。

しかし、コロナ後に飛騨・高山の観光客数が回復する中であっても、利用者数が伸び悩み、ピーク時の半分程度の水準に留まっていることから、飛騨地域の賑わい創出や地域課題解決に資する利活用の可能性を確認することを目的に、今までの県有文化施設という枠にとらわれない、自由で柔軟なご提案を幅広く募集します。

その際、新たな施設の整備、既存施設の改修など、事業手法及び事業規模に条件は付けません。

### 2 対象用地・施設の概要

別添のとおり

### 3 サウンディング型市場調査の内容

飛騨・世界生活文化センターの利活用の方策等についてご提案をいただき、個別に対話する形式で実施します。

#### （1）提案の要件（基本的な考え方）

- ① 飛騨地域の賑わい創出又は地域課題の解決に資するものであること
- ② 施設の改修、維持管理、運営も含め、原則、県に財政負担が生じないものであること

ただし、維持管理・運営費に関しては、一部、県の財政負担を求めることができる（例：施設の保守管理経費等）

#### （2）提案を求める項目

- ① 事業の目的・内容に関すること
- ② 施設の改修・整備に関すること
- ③ 事業の実施主体・体制・資金計画に関すること
- ④ 土地・建物等に関する県と実施主体との権利関係（譲渡、貸付等）に関すること
- ⑤ 事業実施期間に関すること
- ⑥ 対象区域（一部の建物・区域のみの提案も可）に関すること

#### 4 参加資格

- (1) 調査目的を理解し、提案内容の実施主体となる意向を有する法人又は複数の法人等で構成される団体（以下「共同体」という。）であること
- (2) 以下のいずれにも該当しないこと
- ① 地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 4〔一般競争入札の参加者の資格〕の規定に該当し、又は本県において入札参加資格停止措置を受けている者
  - ② 会社更生法（平成 14 年法律第 154 号）及び民事再生法（平成 11 年法律第 225 号）に基づく更生・再生手続き中の者
  - ③ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 2 号に規定する暴力団、又は当該暴力団若しくはその構成員（構成員でなくなった日から 5 年を経過しない者を含みます。）と関係を有する者
  - ④ 法人税、消費税、法人事業税、法人都道府県民税及び地方消費税を滞納している者
  - ⑤ 共同体で応募する場合、構成員のいずれかが①～④のいずれかに該当

#### 5 スケジュール

実施要領の公表	令和 7 年 1 1 月 2 7 日（木） 1 4 時
サウンディング型市場調査への参加申込期間	令和 7 年 1 1 月 2 7 日（木） 1 6 時 ～令和 8 年 6 月 2 6 日（金） 1 7 時
現地見学会（※ 1）	令和 7 年 1 2 月 4 日（木）～令和 8 年 6 月 2 6 日（金） （随時実施、火曜日除く）
提案書の提出期限（※ 2）	令和 8 年 8 月 1 2 日（水）
提案内容の確認（※ 2）	令和 8 年 8 月～9 月
結果概要の公表（※ 2）	令和 8 年 9 月

※ 1 現地見学会は、別紙 1 の参加申込書を提出した参加事業者を対象に実施します。参加事業者の希望に応じて、日時を調整します。

※ 2 参加事業者の状況等を踏まえ、スケジュールが変更となる可能性があります。具体的な日時・場所等は、参加事業者へ個別に連絡します。

#### 6 手続き

##### (1) サウンディング型市場調査への参加申込み

参加を希望する事業者は、別紙 1 の参加申込書に必要事項を記入し、件名を【サウンディング型市場調査参加申込】として、下記の申込先へ電子メールにてご提出ください。

- ① 申込期間：令和 7 年 1 1 月 2 7 日（木） 1 6 時～令和 8 年 6 月 2 6 日（金） 1 7 時
- ② 申込先：「9 問い合わせ先」のとおり

※ 申し込まれた内容は、施設所在圏域市村（高山市等）の関係者（以下「関係者」という。）と共有いたします。

※ なお、参加申込書の提出後に、参加を辞退する場合は、別紙 2 の辞退届を提出してください。

## (2) 現地見学会

随時、現地見学会を開催します。

- ① 実施期間：令和7年12月4日（木）～令和8年6月26日（金）

（随時実施、火曜日除く）

※ 現地見学会は、別紙1の参加申込書を提出した参加事業者を対象に実施します。参加事業者の希望に応じて、日時を調整します（複数回も可）。希望に添えない場合もありますので、ご了承ください。

- ② 会場：飛騨・世界生活文化センター（高山市千島町900-1）

- ③ 留意事項：・敷地内での行動については、県の指示に従うこと  
・撮影した写真は、提案書作成の目的以外で使用しないこと  
・関係者も同席する場合があります。

## (3) 提案書の提出

「(4) 提案内容の確認」の進行を効率的に行うため、「3 サウンディング型市場調査の内容」に示す事項に関する提案書（様式は任意）を、下記の提出先へご提出ください。電子メールで提出する場合は、件名を【提案書の提出】として送付してください。

- ① 提出期限：令和8年8月12日（水）

- ② 提出先：「9 問い合わせ先」のとおり

※ 提出いただいた提案書の内容は、関係者と共有します。

## (4) 提案内容の確認

参加事業者のアイデア、ノウハウの保護のため個別に対話を行います。

- ① 実施日時：令和8年8月～9月（具体的な日時は、参加事業者へ個別に連絡します。）  
② 場所：参加事業者へ個別に連絡します。  
③ 留意事項：関係者も同席する場合があります。

## (5) 結果概要の公表

結果概要について、公表を予定しています。

なお、参加事業者の名称、提案書は公表しませんが、関係者には情報提供する場合があります。また、公表内容は、参加事業者のアイデア、ノウハウの保護に配慮し、事前に参加事業者へ確認します。

## 7 留意事項

### (1) 参加の取り扱い

仮に、今後、事業者公募等を実施することとなった場合、参考とした優れた提案については加点する場合があります。

また、サウンディング型市場調査の結果は、今後の検討において参考とさせていただきますが、県と参加事業者の双方を何ら拘束するものではありません。

なお、提出された提案書等は返却しません。

## (2) 参加費用

サウンディング型市場調査への参加に要する費用は、全て参加事業者の負担とします。

## (3) 追加対話への協力

サウンディング型市場調査の終了後も、必要に応じて追加の対話（文書照会を含む）やアンケート等を実施させていただくことがあります。その際にはご協力をお願いいたします。

## 8 その他

- 別紙1：サウンディング型市場調査参加申込書
- 別紙2：辞退届
- 飛騨・世界生活文化センター（高山市千島町）の概要については、以下のHPでご確認ください。

<https://www.hida-center.jp/index.html>

## 9 問い合わせ先

- ・担 当：岐阜県 観光文化スポーツ部 文化創造課 文化施設係
- ・所 在 地：〒500-8570 岐阜県岐阜市藪田南 2-1-1
- ・電話番号：058-272-8245
- ・F A X：058-278-3529
- ・メ ー ル：c11146@pref.gifu.lg.jp

## ○ 対象用地・施設の概要

所在地	岐阜県高山市千島町 900-1
土地の概要	<p>面積（公簿）：44,476.97 m<sup>2</sup></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山林：40,559.00 m<sup>2</sup></li> <li>・保安林：461.00 m<sup>2</sup></li> <li>・原野：31.00 m<sup>2</sup></li> <li>・宅地：3,425.97 m<sup>2</sup></li> </ul>
既存建物の概要	<p>建築面積：8,452.56 m<sup>2</sup> 延床面積：24,137.99 m<sup>2</sup></p> <p>○エントランス棟（メインアプローチ含む） 飛驒・世界生活文化センターの正面入り口で、陶版画、飛驒のパノラマ画、ギャラリー展示などを持つ施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構造：鉄筋コンクリート造</li> <li>・階数：地上2階、地下2階</li> <li>・建築面積：808.36 m<sup>2</sup></li> <li>・延床面積：3,008.75 m<sup>2</sup></li> <li>・建築年月：平成13年5月</li> </ul> <p>○イベントホール棟（コンベンションホール棟） 見本市、展示会、芸能、大規模会議、コンサート、軽スポーツなど多目的なイベントコンベンションの開催が可能なホール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構造：鉄骨鉄筋コンクリート造</li> <li>・階数：地上3階、地下1階</li> <li>・建築面積：3,410.51 m<sup>2</sup></li> <li>・延床面積：8,226.45 m<sup>2</sup></li> <li>・建築年月：平成13年5月</li> </ul> <p>○展示棟（ミュージアム棟） 飛驒の生活文化をテーマとした常設展示場と、3つの企画展示室を持つ展示施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構造：鉄骨鉄筋コンクリート造</li> <li>・階数：地上5階、地下1階</li> <li>・建築面積：1,670.71 m<sup>2</sup></li> <li>・延床面積：6,775.28 m<sup>2</sup></li> <li>・建築年月：平成13年5月</li> </ul> <p>○小ホール棟（飛驒芸術堂） 会議、講演会、演劇、音楽会、芸能公演のほか、同時通訳設備による国際会議が開催可能な多目的ホール</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構造：鉄骨鉄筋コンクリート造</li> <li>・階数：地上3階、地下1階</li> <li>・建築面積：1,669.55 m<sup>2</sup></li> <li>・延床面積：3,618.34 m<sup>2</sup></li> <li>・建築年月：平成13年5月</li> </ul> <p>○レストラン棟（食遊館）</p> <p>特別会議室、大・中・小の各種会議室など目的や人数によって選べる会議室やその場で飲食できるフリースペースを持つ施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構造：鉄骨鉄筋コンクリート造</li> <li>・階数：地上3階、地下1階</li> <li>・建築面積：693.27 m<sup>2</sup></li> <li>・延床面積：2,309.01 m<sup>2</sup></li> <li>・建築年月：平成13年5月</li> </ul> <p>○屋外機器棟</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構造：鉄筋コンクリート造</li> <li>・階数：地上1階</li> <li>・建築面積：200.16 m<sup>2</sup></li> <li>・延床面積：200.16 m<sup>2</sup></li> <li>・建築年月：平成13年5月</li> </ul>												
延べ利用者数の推移	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">令和元年度</td> <td style="width: 33%;">462,192名</td> <td style="width: 33%;">令和2年度</td> <td style="width: 33%;">134,553名</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>279,737名</td> <td>令和4年度</td> <td>248,854名</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>233,392名</td> <td>令和6年度</td> <td>310,192名</td> </tr> </table>	令和元年度	462,192名	令和2年度	134,553名	令和3年度	279,737名	令和4年度	248,854名	令和5年度	233,392名	令和6年度	310,192名
令和元年度	462,192名	令和2年度	134,553名										
令和3年度	279,737名	令和4年度	248,854名										
令和5年度	233,392名	令和6年度	310,192名										
指定管理者職員の配置状況	14名												
現在の施設管理費	<p>指定管理料：253,018千円（令和6年度）</p> <p>うち光熱水費、委託料、修繕料、燃料費等：172,664千円（令和6年度指定管理者実績）</p>												
水道・電力等の供給状況	<p>上下水道：高山市上下水道</p> <p>高圧電力：中部電力ミライズ(株)</p> <p>ガス：プロパンガス</p>												
土地・建物の権利状況	岐阜県所有の行政財産（土地・建物）												

(別紙1)

令和 年 月 日

飛騨・世界生活文化センターの利活用に関するサウンディング型市場調査  
参加申込書

法人名・共同体名 代表者名 ※共同体の場合は 構成法人等名も記載			
所在地			
連絡担当者	所属・氏名		
	Tel		
	E-mail		
現 地 見 学 会	希望日時(※)	月	日( ) 時 分 ~ 時 分
	参加予定者の 職・氏名(※)		
宣誓事項	<input type="checkbox"/> 実施要領「4 参加資格」をすべて満たしていることを宣誓します。 <input type="checkbox"/> 実施要領「6(2)現地見学会③留意事項」を順守することを宣誓します。		

※ 未定の場合は、空欄で可

(別紙2)

令和 年 月 日

飛騨・世界生活文化センターの利活用に関するサウンディング型市場調査  
辞退届

下記の理由により、当該調査への参加を辞退します。

法人名・共同体名 代表者名 ※共同体の場合は 構成法人等名も記載	
所在地	
辞退理由	